

科目番号	教室		登録人数	履修登録方法				
学共128			30	調整期間登録				
開講年度	期間	曜日時限	開講学部等					
2025	後学期	集中	国際地域創造学部国際地域創造学科					
講義コード	科目名[英文名]		単位数					
g00582002	キャリア演習Ⅱ		2					
担当教員[ローマ字表記]								
大田 よしみ、高畠 明尚								

授業の形態

講義、演習又は実験

アクティブラーニング

学生が議論する、学生が自身の考えを発表する、学生が文献や資料調べる

授業内容と方法

将来の選択に向けてインターンシップや就職活動に向けて取り組む予定のある時期から、自己理解・社会理解を深めながら、自分らしいキャリアを主体的に考え、行動につなげる力を養う。
個人ワークやグループワーク等に取り組みながら自己理解及び他者理解を深め、対人能力や発信力・協働する力など「社会が求める能力」について身に付けるための演習を行う。グループワークの過程において多種多様な社会や組織に属した際に必要となるチームビルディングやファシリテーションなどの基本を学び、今後の大学における講義への取り組みや大学生活、就職活動、社会人生活にも活かすための基盤を培う。キャリア演習を学ぶことにより授業とその学修成果による単位を授与する。

URGCC学習教育目標

自律性、社会性、コミュニケーション・スキル、情報リテラシー、問題解決力

達成目標

「大学時代からなぜキャリアデザインを考える必要があるのか」と考察し、キャリアデザインの基礎を学びながら自らの将来に反映できることを目的とする。「自分を知る」シリーズで自己理解を深め、「社会を知る」シリーズでは社会の現状についての関心を高め、社会との接点を持つ重要性を理解する。さらにグループワークを通して、社会性および行動力を身に付け、実際の就職活動や現状の大学生活に積極的に取り組み修養を積めるようになることを目標とする。

評価基準と評価方法

参加型講義のため、以下を総括的に評価

評価基準

- ①理解度・・・進路・職業選択に向けて必要な情報収集力や分析力、社会的基礎力などの理解度を評価判断する
- ②参加度・・・個人ワーク及びグループ活動への積極的取り組みを評価判断する
- ③提出物・・・各回の小レポート、授業内課題等の提出。

評価方法

①講義内容の理解度及びワーク参加度 60%

②提出物の有無及び内容の完成度 30%

③期末試験 10%

参加型および連続性のある講義の為、ワーク不参加、質疑応答の程度、提出物の有無&完成度を大きく評価。遅刻、講義中の私語、携帯電話の私的使用なども減点対象とする。

履修条件

受講対象を国際地域創造学部・人文社会学部・法文学部とする。授業の内容を反映してインターンシップや就職活動の取り組みを行いたいと考える学生の受講が望ましい。

事前に履修すべき科目は特にない。

授業計画

- | | |
|----------------------------------|---|
| 第1回：オリエンテーション（自律的キャリアプランニングの必要性） | |
| 第2回：キャリアデザインの基礎知識① | （ライフステージとライフロール） |
| 第3回：キャリアデザインの基礎知識② | （ホランドの適職診断） |
| 第4回：キャリアデザインの基礎知識③ | （外的キャリア・内的キャリア）
（「業界研究」「企業研究」「職種理解」について学ぶ） |
| 第5回：業界・企業研究とは | （企業の情報を用いて企業研究に取り組む） |
| 第6回：企業研究実践① | （第6回続き） |
| 第7回：企業研究実践② | （シユロスバーグの「4つのS」理論を基本にメンタルヘルスの対策を考える） |
| 第8回：就活におけるメンタルヘルス | （自己分析の基本を知り、自分の強みを発見する手掛けりとする） |
| 第9回：自己分析 | （「企業研究」と「自己分析」をリンクする方法を学ぶ） |
| 第10回：自分と仕事のマッチング① | （第10回続き） |
| 第11回：自分と仕事のマッチング② | （応募先と自分をリンクさせた自己PR文を作成） |
| 第12回：自己PR文作成 | （個人面接・集団面接・オンライン面接の注意事項） |
| 第13回：面接練習実践① | （個人面接・集団討議実践） |
| 第14回：面接練習実践② | （個人面接・集団討議実践） |
| 第15回：面接練習実践③ | 期末試験（当日にレポート形式にて実施） |
| 第16回：講義総括 | |

■ 事前学習

事前学習として、興味・関心のある業界・企業・職種等の情報を、新聞やIT情報活用して収集しておくこと。

■ 事後學習

事後学習として、講義内容で学んだことを大学生活や正課講義に反映し、また正課外講義やイベント（キャリア教育センター主催等）に積極的に参加することを推奨する。

教科書にかかる情報

教科書全体備考

特定の書籍はありません。必要に応じて資料等は講義内で配布。

参考書にかかる情報

参考書全体備考

特になし

使用言語

日本語

メッセージ

※集中

※シラバスはク

請我的進行狀況，並依此修改。請理解。

■ オフィスツアー

オフィスアワー

集中講義のため、授業開始前までの問い合わせに関しては「担当教員（高畠教授）」まで連絡をお願いします。

集中講義開催中の問い合わせに関しては「科目担当（大田）」に連絡をお願いします。

 メールアドレス

この項目は教務情報システムにログイン後、表示されます。

 URL

特になし